



研究者名※	佐藤 和哉 SATO Kazuya	学位※	修士(学術) 修士(MSc in Economic and Social History)
所属※	文学部 英文学科	職名※	教授
連絡先	kasatoh@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/Kazuya_Sato		
研究分野※	人文学/文学/英米・英語圏文学、人文学/史学/ヨーロッパ史・アメリカ史		
研究キーワード※	英文学、比較文学、西欧近現代史		
共同研究・競争的資金等の研究課題	「初期近代イングランドにおける民衆文芸に関する学際的研究」(科学研究費・基盤C・研究代表者、2007～2009年度) 「『ロビンソン・クルーソー』の再話に関する比較文学的研究」(科学研究費・基盤C・研究代表者、2015～2017年度)		
社会貢献・産学官連携活動等	綾瀬市教養セミナー「世界を知ろう!～イギリス編～」講師(2012年2月～3月) 文京アカデミア「外国人おもてなし英会話講座」講師(2016年5月～6月、2019年10月～11月) NHK文化センター千葉教室「イギリスの伝承童謡 マザー・グースの世界へようこそ」講師(2017年4月)		
受賞歴	日本比較文化学会会長奨励賞(2006年)		

研究領域	英米・英語圏文学 /ヨーロッパ史・アメリカ史
研究テーマ※	英語圏児童文学の文化的・教育的意義(歴史・翻訳・読解・英語)
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>イギリスにおける児童書・児童文学の成立から日本における翻訳にいたるまでの道筋を、社会・文化史・書物の歴史・文学理論・英語教育などの観点から研究している。</p> <p>初期近代におけるイギリス児童文学の成立を、子どもという概念やマーケットとしての書物の発生とも関連づける一方で、近現代日本への翻訳を通じて、日本の児童文学に与えた影響を探るとともに、中等・高等教育における英語教育における活用について考えている。また、若い読者に親しみやすい作品を通じて、深い読解を導くような教育への貢献に関しても考察している。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>『ロビンソン・クルーソー』などの「児童文学」の歴史的背景を探るとともに、英語・読書教育に関わる教材としての可能性を探究していく。この研究によって、読書指導や英語の実用的技能の習得にも、英語圏児童文学が有益であることが示されるものと期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語学修における英語圏児童文学の貢献 ・生涯教育としての「大人の英語の学び直し」における英語圏児童文学の意義 <p>【研究方法の特色】</p> <p>本学では、Eighteenth Century Collections Online が利用可能であり、18世紀の英語圏に関わる研究において、貴重な資料となっている。</p>
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・Kazuya Sato, "Chapter 12, "I must endure courageously and manfully"—Robinson Crusoe Translated by Minami Yōichirō and its Influence on Later Translations in Post-War Japan" (<i>Robinson Crusoe in Asia</i>, Palgrave Macmillan, 2022年1月刊行予定) ・佐藤和哉『読む』という冒険(岩波書店、2022年2月刊行予定)
共同研究・外部機関との連携への期待	・中学校・高等学校における読書指導/英語による「読書」の指導に関する共同研究

